

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 広報体制を強化し、本学部に対する受験生及び社会全体からの理解を深める。	→学部独自ホームページの更新、利用状況	A
2. 推薦入試において優れた学生の確保をさらに推進する。	→推薦入学による入学者のGPA・席次	C
3. 編入学試験において優れた学生の確保を継続するため、2013年度に向けて募集人員の変更を行う。	→2013年度の編入学定員の変更	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 総合政策学部は、ヒューマン・エコロジーの学問的枠組を取り入れた学際的・複合的なアプローチによって、地球規模で広がる諸問題の解決に取り組むことを目標としている。これを実現するために、多様な入学者選抜の方法を採用し、様々な能力と適性を有した学生を幅広く受け入れることを方針としている。 (現状説明) アドミッションポリシーに基づいて学生の受け入れを行い、障害のある学生も積極的に受け入れているが、入学にあたり修得しておくべき知識の内容・水準の明示については、入試形態によっては不十分なものがある。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 入学者選抜にあたって選考基準を設け、複数教員による審査を実施して、審査員による偏りがないよう配慮している。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 適切に実施している。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 入試制度検討委員会において毎年検討を行っている。
☆ その他	

## 《特定6項目データ》

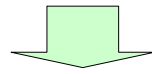
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【総合政策学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	56.6%	49.4%	54.2%	61.1%	54.0%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数		→	→	→	→	→	大学基礎データ表16参照
指標2	志願者総数	人	3,250	5,989	3,970	5,319	5,223	
指標3	志願者倍率	倍	6.8	12.5	8.3	9.2	9.0	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	%	—	—	—	—	—	近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



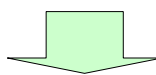
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他  
(自由記述)

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○広報体制の強化がA評価ですが、その根拠を説明してください。

## 【学内委員】

○アドミッションポリシーが明確にされ、それに基づいて多様な学生を受け入れています。ただ、推薦入試および編入入試ですぐれた学生を確保することが2009年度に目標として設定されていますが、それが可能であるか、可能であるとすればいかにして可能かということを含めなければなりません。また、(新設学部を除く)他学部と比べてAO入試による入学者の比率が大きいです。不都合なことではないでしょうか。

○ホームページにおいて、受験生が総合政策学部の独自性について明確に分かるようにすることが期待されます。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。「適切に実施している」だけでは現状はわかりません。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)において数値による評価がなされる項目に注意してください。「4. 学生の受け入れ ⑤編入学定員に対する在籍学生数比率が1.00である」です。2010年度の値では基準をクリアしましたが、2009年度は助言範囲(0.7～1.3を外れた場合)でしたので留意してください。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)において、水準評価として数値による評価がなされるものに注意してください。「4. 学生の受け入れ ③学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である」「同、④学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である」については、それぞれ助言や勧告の対象値が示されています。絶えず確認し遺漏のないようにお願いします。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ (小項目5.0.3) 収容定員に対する在籍者の比率は、2010年現在で1.04倍である。  
(小項目5.0.4) 入試実施後に反省会を行って問題点を検討し、次年度の学生募集・入学者選抜に反映させている。

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保ー入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>
